

教育委員会事務局

教 育 総 務 課
生 涯 学 習 課
文 化 振 興 課
中 央 公 民 館
ス ポ ー ツ 振 興 課
学 校 給 食 課

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	語学指導事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令			款	教育費			
			項	教育総務費			
			目	事務局費			
		事業	語学指導事業				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	小・中学生			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図(どのように)	学校にAET(英語指導助手)を派遣することで、英語教育の充実を図ります。			
事業の概要		<p>中学校における英語教育の充実を図るため、市内5中学校にAETを派遣しています。小学校では、5・6年生を対象としていた外国語活動を平成30年度から小学校3・4年生にも導入、5・6年生は外国語が完全実施となったため、AETを2人増員し、派遣しています。</p>					
事業全体としての課題		<p>英語で聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどについて、ねらいを定めたより効果的な活動を展開することが求められています。</p>					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学習意欲の向上	いろいろな国の言葉や文化について興味をもつ児童の割合(アンケート:指導室実施)		%	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	95	95	95		
	実績値	89	91				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	35,289	36,180	36,180	44,151	0	0
	一般財源	0	0	0	0	56,676	0
	実績額計	35,289	36,180	36,180	44,151	56,676	0
	予算額計	36,191	36,180	36,180	44,151	56,676	57,196
執行率	97.51%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	外国語教育の充実	AETの派遣(年間1学級あたり)小学校(3・4年生)35時間、(5・6年生)70時間、中学校140時間の50%以上				時間	183.1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
<p>AETを活用した英語教育を継続することで、児童生徒が英語に慣れ親しみ、英語学習に意欲的に取り組むことができています。今後は、現行の取り組みを継続するとともに、学習指導要領の改訂に対応するため、AETの拡充や外部講師等を活用した教員に対する研修等の充実を図ります。</p>						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	人権教育啓発研修経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令				款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	教育総務費		
	施策	01 創意ある学校教育の推進		目	事務局費		
			事業	人権教育啓発研修経費			
			顧客 (誰を)	教職員, 教育委員会職員等			
			意図 (どのように)	人権教育研修会に参加			
事業の概要			人権教育推進を図るための各種研修会の参加経費等です。				
事業全体としての課題			平日の研修会については, 特に参加教職員の日程調整が課題となっています。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	人権教育の推進	人権教育の推進を図るための各種研修会への参加		人	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	33	33	33		
	実績値	29	25				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	270	240	274	278	254	0
	実績額計	270	240	274	278	254	0
	予算額計	292	270	294	365	346	366
執行率	92.47%	88.89%	93.20%	76.16%	73.41%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	人権教育の推進	人権教育の推進を図るための各種研修会への参加				人	25
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
今後も人権教育研修会に参加し, 人権についての意識を高め, より一層の理解を深める必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	庶務一般経費		予算	会計	一般会計		
		款		教育費			
		項		教育総務費			
		目		事務局費			
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・石岡市奨学金支給規則		事業	庶務一般経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	教育長・各種団体・就学児童生徒・奨学金受給者			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図(どのように)	各種団体・就学児童生徒・奨学金受給者への教育振興・教育向上を図るため。			
事業の概要			事務経費として各事業を円滑効率的に行います。 ・教育長にかかる経費(旅費・各種負担金)・各団体への補助金交付・就学時健康診断実施経費・奨学金の支給・26年度から新入学児童祝品(ランドセル)給付を実施				
事業全体としての課題			事務消耗品・コピー代など必要最小限の使用とし、支出を抑制する必要があります。 各種団体への補助金・奨学金は補助金審査会の結果を踏まえ、必要に応じ見直し、財政の健全化を図る必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	奨学金支給	奨学金対象生徒(80,000円×14名)に支給		人	平成30年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	14	14	14		
		実績値	14	14			
事業計画	過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	9,517	9,910	9,670	9,290	9,765	0
	一般財源	3,805	3,642	5,663	4,229	4,758	0
	実績額計	13,322	13,552	15,333	13,519	14,523	0
	予算額計	14,230	14,013	16,477	14,555	15,595	17,415
執行率	93.62%	96.71%	93.06%	92.88%	93.13%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	手をつなぐ親の会補助金の交付	機関紙発行に係る助成				件	1
	奨学金	奨学金生徒に支給				件	14
	特別支援学級・通信指導教室	全国・茨城県の特別支援連盟・協議会・協会への負担金				件	8
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
元年度は定員を9名超える23名の応募がありました。出願の動向を注視し、定員の増加について検討していく必要があると考えられます。						令和2年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		教育委員会		教育総務課				
事業名	小中学校校務用コンピュータ整備事業			会計	一般会計			
根拠法令	地方交付税法等の一部を改正する法律、IT新改革戦略			款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	教育総務費			
	施策	01 創意ある学校教育の推進		目	事務局費			
		顧客(誰を)	教職員					
		意図(どのように)	学校事務の軽減					
事業の概要		市内小中学校に、教員が使用できる校務用コンピュータを5年リース方式により整備します。						
事業全体としての課題		学校事務の軽減を目的とした整備であり、一定の効果をあげているが、より効果を高めるためのソフトウェア(校務支援システム等)の導入の検討が必要です。令和元年度に更新した校務用パソコン555台については、機器の更新時期等にあわせ、最新でより安全なシステムを計画的に導入し、ネットワークを含め、快適なパソコン環境を管理運営していかなくてはなりません。今後は、校務支援システム等の導入を検討する必要がありますが、整備にあたっては導入コストの削減をするために共同調達の手法を検討していきます。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	リース教職員PC配備台数		リース教職員PC配備台数		台	令和6年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			令和3年度
		目標値	493	555	555			
実績値	493	555						
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	10,898	10,898	10,898	10,898	14,926	0	
	実績額計	10,898	10,898	10,898	10,898	14,926	0	
	予算額計	10,898	10,898	10,898	10,898	14,926	32,716	
執行率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	0.00%		
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値	
	校務用パソコン整備事業	校務用パソコンの再リースを含めた整備台数				台	555	
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)		
校務用PCについては、事務の効率化に向け、今後も必要な事業であると考えられます。今年度更新時期によりPCを入れ替えるとともに、校務支援システムの導入についても引き続き検討します。						令和6年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校教育一般経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市立学校管理規則等		款	教育費			
			項	教育総務費			
			目	事務局費			
			事業	学校教育一般経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客 (誰を)	小・中学生			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図 (どのように)	教育活動の充実を図る。			
事業の概要		教育課題や各校の実態をふまえた指導・支援を行うほか、市内小中学校教育活動の推進を図るため、計画・指定訪問による指導助言の充実を図ります。					
事業全体としての課題		児童生徒の学力向上や教師の指導力・資質に対し教育行政の関わりが求められており、指導主事や外部人材による指導助言等の支援を充実させる必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	指導主事派遣	指導主事の学習等の指導助言により、各学校の教育活動の支援推進を図る。		人	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	4	4	4		
	実績値	4	4				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	816	1,052	1,102	1,464	1,227	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	33,188	33,437	33,771	43,727	41,788	0
	実績額計	34,004	34,489	34,873	45,191	43,015	0
	予算額計	35,716	34,969	35,592	46,117	47,018	42,158
執行率	95.21%	98.63%	97.98%	97.99%	91.49%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	指導主事派遣	指導主事の学習等の指導助言により、各学校の教育活動の充実を図る。				人	4
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
多様な教育的ニーズや学習指導要領の改訂に対応し、きめ細やかな教育施策を主体的かつ積極的に実施する必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校いきいきプラン推進事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市いきいきプラン実施要綱			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	中学校費		
	施策	01 創意ある学校教育の推進		目	教育振興費		
			顧客(誰を)	中学生			
			意図(どのように)	多様な学習活動、校外学習等の授業を行い、各学校の独自性を尊重しながら児童の生きる力を養う			
事業の概要			各学校の事業計画に基づき特色ある事業を展開し、学校の独自性を生かした教育の実施を図ります。 ・特別講師による学習や各種体験活動（校外活動・社会科見学・福祉活動・地域住民との交流等）の実施				
事業全体としての課題			各学校の独自性を尊重したいが、支出できる範囲等が限られるため、学校の計画に柔軟に対応できない場合があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	計画事業件数	各学校で計画した年間事業数		回	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	30	30	30		
		実績値	28	27			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,871	1,769	1,882	1,726	1,718	0
	実績額計	1,871	1,769	1,882	1,726	1,718	0
	予算額計	2,592	2,401	2,401	2,386	2,390	2,390
執行率	72.18%	73.68%	78.38%	72.34%	71.88%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	いきいきプランに係る講師謝礼の配当	外国語講師や体験実習講師謝礼としての支出				校	4
	いきいきプランに係る需用費の配当	各学校で計画したいいきいきプラン事業に要する需用費に支出				校	5
	いきいきプランに係る使用料及び賃借料の配当	各学校で計画したいいきいきプラン事業に要する使用料及び賃借料費（車借り上げ）の支出				校	5
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されていると考えられます。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要であると考えられます。						令和2年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		教育委員会		教育総務課				
事業名	T T 特別配置事業		予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市ティーム・ティーチング非常勤講師取扱要綱			款	教育費			
				項	教育総務費			
				目	事務局費			
			事業	T T 特別配置事業				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	小中学生			
	施策	01 創意ある学校教育の推進		意図(どのように)	T T (ティームティーチング) 講師を小中学校に配置			
事業の概要			複式学級がある学校に対し、きめ細かな指導及び効果的な授業を行うため、非常勤講師を配置します。					
事業全体としての課題			T T 配置事業により、従来の1学級1担任制のもとでは行われにくかった個々に応じた指導の充実が図られることが期待されています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度		
	最終目標	学習指導の充実		複式学級のある学校に必要なT Tを配置		人	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	9	9	9			
	実績値	9	9					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	4,746	6,373	6,393	13,797	0	0	
	一般財源	0	0	0	2,391	13,838	0	
	実績額計	4,746	6,373	6,393	16,188	13,838	0	
	予算額計	4,888	6,517	6,475	16,188	14,345	21,321	
執行率		97.09%	97.79%	98.73%	100.00%	96.47%	0.00%	
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	学習指導の充実		小学校19校中、複式学級のある学校に配置				人	9
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
習熟度に配慮したきめ細やかな指導を継続的に実施できるよう事業を継続していきます。							令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	教育活動振興経費		予算	会計	一般会計		
				款	教育費		
				項	中学校費		
				目	教育振興費		
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第33条第1項		事業	教育活動振興経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	中学生			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図(どのように)	生徒に学習意欲並びに学力の向上を図るため			
事業の概要			授業で必要となる教材教具の購入、学校図書館司書の配置などにより、学習環境を整備し、学習意欲並びに学力の向上を図ります。 また、全国大会、関東大会出場者への補助金交付や体育連盟への補助を行うことで体育活動についても意欲向上を図ります。				
事業全体としての課題			学校教育に必要な不可欠な経費ではあるが、現在の厳しい財政状況の中では、さらに効果的な事務執行が求められています。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学校図書館司書の配置	学校図書館司書の配置校数		校	平成30年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	5	5	5		
	実績値	5	5				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	1,419	495	475	490	487	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	52,416	50,898	39,137	33,536	33,784	0
	実績額計	53,835	51,393	39,612	34,026	34,271	0
	予算額計	55,569	54,251	42,526	35,949	36,133	37,416
執行率	96.88%	94.73%	93.15%	94.65%	94.85%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	中学校体育連盟補助金の交付	陸上競技会・水泳競技会等の事業補助				団体	1
	県外競技会参加補助金の交付	県外競技会へ参加する生徒及び関係者に対する補助				人	56
	茨城県中学校体育連盟負担金の交付	負担金(市町村割、生徒数、学校割)の支出				団体	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
学校図書館司書について、全中学校で配置できており、今後も継続して維持する必要があります。活用方法について、現場の教職員の意見を取り入れ、現場に即した活用を行う必要があります。						令和2年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学務一般経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市立学校管理規則等		款	教育費			
			項	教育総務費			
			目	事務局費			
			事業	学務一般経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	幼児, 児童			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図(どのように)	個々の能力に応じた適切な指導を実施します。			
事業の概要		教育支援委員会及び協議会の円滑な運営及び、幼児・児童生徒・教職員に関する学務全般の事業推進を図ります。					
事業全体としての課題		保護者のニーズが多様化していることから、状況に配慮した的確かつきめ細かな事業の推進が求められています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	教育支援委員会	教育支援委員会の開催回数		回	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	6	6	6		
	実績値	6	6				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,285	1,154	1,165	1,482	1,450	0
	実績額計	1,285	1,154	1,165	1,482	1,450	0
	予算額計	1,436	1,246	1,225	1,619	1,583	3,954
執行率	89.48%	92.62%	95.10%	91.54%	91.60%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	教育支援委員会	教育支援委員会の開催回数				回	6
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
就学支援は、児童生徒の将来に多大な影響を及ぼすものと考えます。関係機関等との連携を強化し、児童生徒の個々の状況を的確に把握することで、適切な支援を行っていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	心の教室相談員配置事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令				款	教育費		
				項	中学校費		
				目	教育振興費		
			事業	心の教室相談員配置事業			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	中学生		
	施策	01 創意ある学校教育の推進		意図(どのように)	生徒が悩み等を気軽に話せる環境を整えるため、相談員を配置しています。		
事業の概要			生徒の成長・発達に伴って生じるさまざまな不安や悩みを和らげるために、心の教室相談員(元教員等)を配置し、相談活動を実施しています。				
事業全体としての課題			学校を取り巻く様々な環境の変化によって、暴力行為・いじめ・不登校など、子どもたちの行動が複雑深刻化しているなか、中学生という思春期における不安や悩みを気軽に相談できる環境づくりが必要です。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	心の教室相談員・スクールカウンセラーの配置	中学校全校(5校)に心の教室相談員・スクールカウンセラーを配置することで、思春期の心の悩みの相談の場を提供します。		人	令和元年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	6	6	6	
	実績値	6	6				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	613	544	414	275	531	0
	実績額計	613	544	414	275	531	0
	予算額計	640	640	640	640	640	640
執行率	95.78%	85.00%	64.69%	42.97%	82.97%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	心の教室相談員配置数	心の教室相談員を中学校5校へ配置				人	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
生徒の成長・発達に伴って生じる様々な悩みを和らげるため、相談員が生徒の心に寄り添って対応できるよう、相談できる環境を継続していく必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	教育活動振興経費		予算	会計	一般会計		
		款		教育費			
		項		小学校費			
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第33条第1項			目	教育振興費		
			事業	教育活動振興経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	小学生		
	施策	01 創意ある学校教育の推進		意図(どのように)	児童に学習意欲並びに学力の向上を図るため		
事業の概要			授業で必要となる教材教具の購入、学校図書館司書職員の配置などにより、学習環境を整備し、学習意欲並びに学力の向上を図ります。また、体育連盟への補助を行うことで体育活動についても意欲向上を図ります。				
事業全体としての課題			学校教育のために必要不可欠な経費であるが、現在の厳しい状況の中ではさらに効率的な事務執行が求められています。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学校図書館司書の配置		学校図書司書の配置校数		校	平成30年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	19	19	19		
		実績値	19	19			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	4,414	1,151	1,339	1,734	1,484	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	87,250	82,995	62,445	45,833	44,052	0
	実績額計	91,664	84,146	63,784	47,567	45,536	0
	予算額計	93,207	86,213	65,546	48,807	47,157	49,259
執行率	98.34%	97.60%	97.31%	97.46%	96.56%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	小学校体育連盟補助金の交付	陸上競技会・水泳協議会等の事業補助				団体	1
	教育振興に係る備品購入費の配当	教材及び図書等の教育振興に必要な経費の支出				校	19
	教育振興に係る需用費の配当	学校文具消耗品等の教育振興に必要な経費の支出				校	19
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
学校図書館司書について、全小学校で配置できており、今後も継続して維持する必要があります。活用法について、現場の教職員の意見を取り入れ、現場に即した活用を行う必要があります。						令和2年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校いきいきプラン推進事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市いきいきプラン実施要綱			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	小学校費		
	施策	01 創意ある学校教育の推進		目	教育振興費		
			顧客(誰を)	小学生			
			意図(どのように)	多様な学習活動、校外学習等の授業を行い、各学校の独自性を尊重しながら児童の生きる力を養う			
事業の概要			各学校の事業計画に基づき特色ある事業を展開し、学校の独自性を生かした教育の実施を図ります。 ・特別講師による学習や各種体験活動（校外活動・社会科見学・福祉活動・地域住民との交流等）の実施				
事業全体としての課題			各学校の独自性を尊重したいが、支出できる範囲等が限られるため、学校の計画に柔軟に対応できない場合があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	計画事業件数		各学校で計画した年間事業数		件	令和元年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	200	200	200		
		実績値	211	207			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,390	7,305	7,614	11,143	10,915	0
	実績額計	7,390	7,305	7,614	11,143	10,915	0
	予算額計	8,279	8,071	8,070	12,525	12,712	12,866
執行率	89.26%	90.51%	94.35%	88.97%	85.86%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	いきいきプランに係る講師謝礼の配当	外国語講師や体験実習講師謝礼としての支出				校	19
	いきいきプランに係る需用費の配当	各学校で計画したいいきいきプラン事業に要する需用費に支出				校	18
	いきいきプランに係る使用料及び賃借料の配当	各学校で計画したいいきいきプラン事業に要する使用料及び賃借料費（車借り上げ）の支出				校	19
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されていると考えられます。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が求められます。						令和2年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	教育活動指導員配置事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市特別支援教育支援員設置要綱		款	教育費			
			項	教育総務費			
			目	事務局費			
			事業	教育活動指導員配置事業			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客 (誰を)	小・中学校に在学する特別に配慮を要する児童生徒			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図 (どのように)	充実した学校生活ができるよう援助します。			
事業の概要		学校生活において、障害等により特別の配慮が必要な児童生徒のために、特別支援教育支援員を配置しています。					
事業全体としての課題		障害等により特別の配慮が必要な児童生徒の教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置しており、普通学級への就学希望が年々増えています。また、平成28年4月から障害者差別解消法が施行されたことにより、保護者からの配置要望も増えています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学習活動等の支援	特別に配慮を要する児童生徒が在籍する学校に対し特別支援教育支援員を1人以上配置した割合		%	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	100	100	100		
	実績値	100	100				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	14,448	15,116	29,056	0	0	
	一般財源	14,448	15,116	0	40,255	42,222	0
	実績額計	28,896	30,232	29,056	40,255	42,222	0
	予算額計	30,013	30,675	30,844	45,690	43,663	73,787
執行率	96.28%	98.56%	94.20%	88.10%	96.70%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	学習活動等の支援	学校が特別支援教育支援員の配置を希望している人数に対して配置をした人数				人	46
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
支援の対象となる児童生徒の人数や個々の状況を考慮して特別支援教育支援員を増員し、さらに勤務日数も増やしました。今後も、児童生徒の状況に応じた支援を継続していきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	教育振興支援事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	学校教育法第19条		款	教育費			
			項	小学校費			
			目	教育振興費			
			事業	教育振興支援事業			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客 (誰を)	低所得世帯の小学生			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図 (どのように)	保護者の負担軽減を図り、児童の就学の機会を確保する			
事業の概要		<p>経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対して、必要な援助を行うことにより、児童の就学の機会を確保し、児童が安心して楽しく学習できるようにするよう図ります。</p> <p>・就学援助費（学用品費・給食費・修学旅行費等）の支給</p>					
事業全体としての課題		<p>現在は就学援助の認定にあたり、所得状況及び特殊事情等を判断材料としているが、分かりづらい面もあり、基準の明確化が求められています。</p>					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	準要保護児童認定率	準要保護児童認定者数÷申請者数		%	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	100	100	100		
		実績値	95.4	91.3			
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	872	1,029	902	1,093	1,215	0
	県支出金	222	115	114	152	108	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	21	8	0
	一般財源	54,055	14,968	16,582	25,067	24,020	0
	実績額計	55,149	16,112	17,598	26,333	25,351	0
	予算額計	59,272	19,148	21,515	26,333	30,398	86,565
執行率	93.04%	84.14%	81.79%	100.00%	83.40%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	クラブ活動補助金	均等割り・児童数割・クラブ数割にて各学校に交付				校	19
	遠距離通学費補助金	定期代1/2支給（東小・府中小・三村小・柿岡小・恋瀬小）				人	34
	就学援助費の支給	準要保護認定者への学用品費等の支給				人	263
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
<p>就学援助のうち準要保護について、288人の申請者数に対し、263人を認定し、認定率は91.3%となっています。就学援助については適切な制度運用が行われていますが、引き続き制度の周知、所得基準の明示などの対応を行います。</p>					令和2年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	教育振興支援事業	予算	会計	一般会計			
			款	教育費			
			項	中学校費			
			目	教育振興費			
根拠法令	学校教育法第19条		事業	教育振興支援事業			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	低所得世帯の中学生			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図(どのように)	保護者の負担軽減を図り、生徒の就学の機会を確保する			
事業の概要		<p>経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことにより、生徒の就学の機会を確保し、生徒が安心して楽しく学習できるよう図ります。</p> <p>・就学援助費（学用品費，給食費，修学旅行費等）の支給</p>					
事業全体としての課題		現在は就学援助の認定にあたり、所得状況及び特殊事情等を判断材料としているが、分かりづらい面もあり、基準の明確化が求められています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	準要保護生徒認定率	準要保護生徒認定者数÷申請者数		%	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	100	100	100		
		実績値	96.8	91.9			
事業計画	過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	848	0
	県支出金	0	0	0	0	441	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	1,193	0
	一般財源	22,365	33,658	25,702	23,163	19,733	0
	実績額計	22,365	33,658	25,702	23,163	22,215	0
	予算額計	26,786	37,622	30,467	29,735	30,391	32,711
執行率	83.50%	89.46%	84.36%	77.90%	73.10%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	八郷中学校遠距離通学費補助金	定期代－生徒負担3,000円＝市が補助				人	1
	進路対策費補助金交付	学校割				校	5
	就学援助費の支給	準要保護認定者への学用品費等の支給				人	171
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
<p>就学援助のうち準要保護について、186人の申請者数に対し、171人を認定し、認定率は91.9%となっています。就学援助については適切な制度運用が行われていますが、引き続き制度の周知、所得基準の明示などの対応を行います。</p>					令和2年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		教育委員会		教育総務課					
事業名	学校教育支援事業	予算	会計	一般会計					
			款	教育費					
			項	教育総務費					
			目	事務局費					
根拠法令	石岡市適応指導教室設置規則	事業	学校教育支援事業						
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	不登校児童生徒・保護者					
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図(どのように)	適応指導教室を通じて不登校の解消を図っています。					
事業の概要		児童生徒の不登校の未然防止と学校復帰を図るため、適応指導教室(指導員3名)を設置し、教育カウンセラーや指導主事による相談等の支援を実施しています。							
事業全体としての課題		適応指導教室への通級者は増える傾向にあり、専門的な知識を持つ医師やカウンセラーなどから、継続的な支援や助言を得られるような体制が必要です。							
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	適応指導教室において改善が図られた児童生徒比率	適応指導教室において改善が図られた児童生徒数の割合		%	令和元年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	100			100	100	
			実績値	100			100		
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0			
	一般財源	16,945	17,089	17,205	17,330	17,962	0		
	実績額計	16,945	17,089	17,205	17,330	17,962	0		
	予算額計	17,181	17,268	17,519	17,903	18,425	20,186		
執行率	98.63%	98.96%	98.21%	96.80%	97.49%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	適応指導教室において改善が図られた児童生徒比率	適応指導教室において改善が図られた児童生徒数の割合				%	100		
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)			
児童生徒の不登校の未然防止や学校復帰を図るため、適応指導教室「あすなる」を継続して設置し、専門の職員による支援活動を継続していきます。						令和3年度			

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	教育委員会関係経費	予算	会計	一般会計			
			款	教育費			
			項	教育総務費			
			目	教育委員会費			
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	事業	教育委員会関係経費				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	教育委員会教育委員			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	意図(どのように)	政治的中立性の立場から地方教育行政の充実を図るため			
事業の概要		教育委員会定例会の開催(毎月1回・他 必要に応じ臨時会の開催) 教育委員対象の各種研修会及び会議等への参加					
事業全体としての課題		地方教育行政の基本理念を明確化し、教育委員会全体の体制充実を図る必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	各種研修会・会議への参加	市町村委員会連合会等会議及び研修会への参加		回	令和元年度	
			年度	平成30年度			令和元年度
		目標値	5	5	5		
		実績値	3	3			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,696	2,652	2,578	2,660	2,664	0
	実績額計	2,696	2,652	2,578	2,660	2,664	0
	予算額計	2,797	2,782	2,798	2,769	2,769	2,769
執行率	96.39%	95.33%	92.14%	96.06%	96.21%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	市町村教育委員会連合会	県内市町村教育委員会連合会等会議及び研修会への参加				回	3
	教育委員会定例会及び臨時会	定例会及び臨時会の実施				回	14
	教育長交際費	教育事業に係る(会費・祝い金・香料等)支出				件数	18
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
目標値には達していないものの、事業の適切な実施により、教育委員会全体の体制充実が図られています。					令和2年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		教育委員会		教育総務課				
事業名	平和大使派遣事業		予算	会計	一般会計			
根拠法令				款	教育費			
				項	教育総務費			
				目	事務局費			
			事業	平和大使派遣事業				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	中学生			
	施策	01 創意ある学校教育の推進		意図(どのように)	広島や長崎へ派遣し、平和への理解を深め、学校や地域等において平和の大切さを伝承します。			
事業の概要			次世代を担う青少年を広島や長崎へ派遣し、平和祈念式典への参列をはじめ、被爆関連施設等を見学するなど、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さについて改めて考える機会を提供することで、平和に対する理解を深めます。					
事業全体としての課題			平和祈念式典へは、全国から多くの人に参加するため、宿泊場所の確保が必要です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度		
	最終目標	派遣生徒の人数	各学校1人以上の生徒を平和大使として派遣します。		人	令和元年度		
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	10	10	10			
	実績値	10	10					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	881	1,337	1,758	1,125	0	0	
	一般財源	0	0	0	30	1,670	0	
	実績額計	881	1,337	1,758	1,155	1,670	0	
	予算額計	912	1,452	1,766	1,155	1,695	1,233	
執行率		96.60%	92.08%	99.55%	100.00%	98.53%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等					単位	実績値
	派遣生徒の人数	各学校1人以上の生徒を平和大使として派遣します。					人	10
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
各中学校から計10名の生徒を広島や長崎へ派遣し、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さについて学ぶ機会を提供しました。派遣された生徒は、報告会等で学校や地域へ平和の大切さを伝承し、平和に対する理解を深めることができました。今後も、平和に対する理解を深めるため、事業を継続していきたいと考えます。							令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校管理運営経費	予算	会計	一般会計			
			款	教育費			
			項	小学校費			
			目	学校管理費			
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	事業	学校管理運営経費				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	小学生・小学校			
	施策	02 学校施設の整備・充実	意図(どのように)	教育環境を整え、児童が安心して学べるようにするため			
事業の概要		学校規模・児童数等による予算配当、学校校務員雇用 児童送迎等バス運転業務委託					
事業全体としての課題		経常的経費として毎年削減される方向であるため、限られた予算の中で計画的に執行し、学校管理運営をしていく必要があります。また、給食受け入れ員が削減されたことにより、学校校務員がその業務を行っている学校があり、本来の業務に支障が出ています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学校校務員の配置	学校校務員未配置校への継続配置		校	令和元年度	
			年度	平成30年度			令和元年度
		目標値	19	19	19		
実績値	19	19					
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	774	653	609	527	604	0
	一般財源	151,741	145,790	155,051	153,455	151,374	0
	実績額計	152,515	146,443	155,660	153,982	151,978	0
	予算額計	163,113	161,215	158,059	158,967	171,101	174,557
執行率	93.50%	90.84%	98.48%	96.86%	88.82%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	小桜小学校児童通学バス運行事業・教育バス運行委託	年間運行日数				日	188
	教育バス運行委託	校外活動等稼働台数				回	245
	学校校務員配置	学校校務員未配置校への配置にかかる支出				人	19
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
限られた予算内で、事業の目的を達成することができました。今後も継続する必要がありますが、随時、事業費の削減余地について検討します。					令和2年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校管理運営経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		款	教育費			
			項	中学校費			
			目 事業	学校管理費 学校管理運営経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客 (誰を)	中学生・中学校			
	施策	02 学校施設の整備・充実	意図 (どのように)	教育環境を整え、児童生徒が安心して学べるようにするため			
事業の概要		学校規模、生徒数等による予算配当、学校校務員雇用 生徒送迎等バス運転業務委託					
事業全体としての課題		経常的経費として毎年削減される方向であるため、限られた予算の中で計画的に執行し、学校管理運営をしていく必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施設管理に係る予算の配当	配当する市内中学校数		校	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	5	5	5		
	実績値	5	5				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	6,430	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	95,452	92,970	97,065	120,157	112,113	0
	実績額計	95,452	92,970	97,065	120,157	118,543	0
	予算額計	103,961	101,925	100,711	129,880	131,588	134,646
執行率	91.82%	91.21%	96.38%	92.51%	90.09%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施設管理に係る需用費の配当	電気・水道・下水道・施設燃料費等の学校施設管理に必要な経費の支出				校	5
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
限られた予算内で、事業の目的を達成することができました。今後も継続する必要があるが、随時、事業費の削減余地について検討します。						令和2年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校施設事務費	予算	会計	一般会計			
根拠法令			款	教育費			
			項	教育総務費			
			目	事務局費			
		事業	学校施設事務費				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客 (誰を)	学校施設			
	施策	02 学校施設の整備・充実	意図 (どのように)	適正な事務の執行			
事業の概要		学校施設事務を円滑かつ効率的に行います。					
事業全体としての課題		経常的な事務経費が主となるため、効率的な執行を行う必要があります。施設の老朽化による修繕箇所増加に伴い学校からの修繕内容が多様化しています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学校施設整備の充実	公立学校施設整備期成会会議		回	平成30年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1	1	1		
	実績値	1	1				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	5	0	0	0	
	一般財源	3,137	2,608	4,290	11,982	17,716	0
	実績額計	3,137	2,613	4,290	11,982	17,716	0
	予算額計	3,277	2,708	4,290	11,982	21,435	7,044
執行率	95.73%	96.49%	100.00%	100.00%	82.65%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	県南情報教育担当者会議	会議への出席				回	1
	公立学校施設整備期成会	会議への出席				回	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
施設維持のため必要な事業費であるとともに、統合再編により残った施設の管理費等維持費を計上しています。廃校後の施設利活用についても検討が必要であると考えられます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校維持管理経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令				款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	中学校費		
	施策	02 学校施設の整備・充実		目	学校管理費		
			事業	学校維持管理経費			
			顧客 (誰を)	こども(中学生)			
			意図 (どのように)	安全・安心な教育環境の確保			
事業の概要			校内施設設備の維持管理を適正に実施することにより、安心して学べる教育現場を保守します。				
事業全体としての課題			施設の老朽化に伴う小・中規模の施設修繕箇所が増える中、応急措置でしか対応できていない状況です。また、少子化の進展に伴う学校の小規模化が進んでおり、施設の集約化と効率化を実施・検討する必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学校施設整備の充実	学校維持管理校数		校	平成30年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	7	7	7		
	実績値	7	7				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	20	15	1,732	352,899	36,212	0
	一般財源	38,703	38,424	57,386	39,246	53,988	0
	実績額計	38,723	38,439	59,118	392,145	90,200	0
	予算額計	45,841	42,643	59,118	392,145	100,622	51,137
執行率	84.47%	90.14%	100.00%	100.00%	89.64%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	火災保険料	火災保険料に係る支出				校	7
	機械器具等保守点検委託	電気保安・ダムウェダー・消防設備保守・プールろ過装置維持管理等の支出				校	7
	植栽管理委託	校内植栽剪定作業等				校	7
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
より適正な管理に向け、情報収集するとともに、経費削減に向け調査研究が必要です。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	学校維持管理経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令			款	教育費			
			項	小学校費			
			目	学校管理費			
		事業	学校維持管理経費				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客 (誰を)	こども(小学生)			
	施策	02 学校施設の整備・充実	意図 (どのように)	安全・安心な教育環境の確保			
事業の概要		校内施設整備の維持管理を適正に実施することにより、安心して学べる教育現場を保守します。					
事業全体としての課題		施設の老朽化に伴う小・中規模の施設修繕箇所が増える中、応急措置でしか対応できていない状況です。また、少子化の進展に伴う学校の小規模化が進んでおり、施設の集約化と効率化を実施・検討する必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	学校施設の整備・充実	学校維持管理校数		校	平成30年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	19	19	19		
	実績値	19	19				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	87,847	65,909	71,888	110,803	88,328	0
	実績額計	87,847	65,909	71,888	110,803	88,328	0
	予算額計	90,281	67,923	71,888	110,803	94,789	98,849
執行率	97.30%	97.03%	100.00%	100.00%	93.18%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施設夜間警備業務	施設夜間警備に係る支出				校	19
	機械器具等保守点検委託	電気保安・ダムウェダー・消防設備保守・プールろ過・石小プール機械設備点検・三村小地下タンク法定点検等の支出				校	19
	排水溝清掃業務委託	校舎及び体育館屋根樋等清掃				校	19
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
施設維持のため必要な管理費等維持費を計上しています。統合再編を見越した施設管理の検討が必要です。より適切な管理に向け、計画的な施設管理に努めます。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		教育委員会		教育総務課					
事業名	保健衛生管理経費		予算	会計	一般会計				
				款	教育費				
				項	小学校費				
				目	学校管理費				
根拠法令	学校保健法		事業	保健衛生管理経費					
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	小学生				
	施策	02 学校施設の整備・充実		意図(どのように)	児童の健康の維持増進を図るため				
事業の概要			児童が健やかに学校生活を送れるよう、定期的な健康診断を行い、疾病の早期発見と適切な指導助言により、健康の維持増進を図ります。						
事業全体としての課題			食習慣の乱れが児童の健康に害を及ぼす影響は少なくないことから、家庭、学校医等との連携を図り、食育や健康教育を促進する必要があります。各家庭の理解、協力及び学校医の支援体制の確立が必要であると考えられます。						
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	日本スポーツ振興センター負担金	加入児童数		人	令和元年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	3,965			3,284	3,310	
実績値	3,329	3,284							
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他	1,608	1,544	1,476	1,412	1,394	0		
	一般財源	14,459	13,974	13,702	13,500	13,387	0		
	実績額計	16,067	15,518	15,178	14,912	14,781	0		
	予算額計	16,503	16,048	15,695	15,525	15,467	16,786		
執行率	97.36%	96.70%	96.71%	96.05%	95.56%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	茨城県学校保健会石岡支部	負担金(学校割及び児童割)の支出				校	19		
	保健主事部会	負担金(学校数)の支出				校	19		
	日本スポーツ振興センター	負担金(児童数)の支出				校	19		
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)				
児童の健康の維持増進は一定の成果を上げており、今後も事業の継続が求められると考えられます。					令和2年度				

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		教育委員会		教育総務課					
事業名	保健衛生管理経費		予算	会計	一般会計				
根拠法令	学校保健法			款	教育費				
				項	中学校費				
				目	学校管理費				
			事業	保健衛生管理経費					
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	中学生				
	施策	02 学校施設の整備・充実		意図(どのように)	生徒の健康の維持増進を図るため				
事業の概要			生徒が健やかに学校生活を送れるよう、定期的な健康診断を行い、疾病の早期発見と適切な指導助言により、健康の維持増進を図ります。						
事業全体としての課題			食習慣の乱れが生徒の健康に害を及ぼす影響は少なくないことから、家庭、学校医等との連携を図り、食育や健康教育を促進する必要があります。各家庭の理解、協力及び学校医の支援体制の確立が必要であると考えられます。						
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	日本スポーツ振興センター負担金	加入生徒数		人	令和元年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	2,190			1,799	1,770	
実績値	1,879	1,795							
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	751	0		
	一般財源	8,111	7,978	7,897	7,519	6,427	0		
	実績額計	8,111	7,978	7,897	7,519	7,178	0		
	予算額計	8,618	8,634	8,547	7,863	7,699	7,924		
執行率	94.12%	92.40%	92.39%	95.63%	93.23%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	茨城県学校保健会石岡支部	負担金(学校割及び生徒割)の支出				校	5		
	保健主事部会	負担金(学校数)の支出				校	5		
	日本スポーツ振興センター	負担金(生徒数)の支出				校	5		
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)			
生徒の健康の維持増進は一定の成果を上げており、今後も事業の継続が求められると考えられます。						令和2年度			

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	ICT環境整備事業		会計	一般会計			
根拠法令			款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	中学校費			
	施策	02 学校施設の整備・充実	目	教育振興費			
			事業	ICT環境整備事業			
		顧客 (誰を)	市内学校に通う生徒, 教職員				
		意図 (どのように)	校務の効率化, 生徒の学習意欲向上				
事業の概要		生徒の学習意欲向上, 言語活動の充実, 教職員の校務負担削減のために, ICT機器(タブレット端末, ネットワーク機器設置等)の整備を行います。					
事業全体としての課題		文部科学省で掲げていますGIGAスクール構想の実現に向けて, 学校教育環境の整備を計画的に実施していく必要があります。また, 教職員が授業の準備等で時間外の業務におられることもあり, 校務の効率化が求められています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	ICT機器導入整備	タブレット配備		台	令和3年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	210	210	210	
実績値	210	210					
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	2,484	2,154	7,283	9,438	0
	実績額計	0	2,484	2,154	7,283	9,438	0
	予算額計	0	3,100	2,154	7,283	54,377	9,716
執行率	0.00%	80.13%	100.00%	100.00%	17.36%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	ICT機器整備	ICT整備計画を基に, 中学校への機器導入				台	210
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
文部科学省が進めているGIGAスクール構想の実現に向けて整備を進めます。一人一台端末の整備, ネットワークの充実など, ICT機器がより快適に使えるよう環境の充実に努めます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		教育総務課			
事業名	ICT環境整備事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令				款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	小学校費		
	施策	02 学校施設の整備・充実		目	教育振興費		
			事業	ICT環境整備事業			
			顧客 (誰を)	市内学校に通う生徒, 教職員			
			意図 (どのように)	校務の効率化, 生徒の学習意欲向上			
事業の概要			生徒の学習意欲向上, 言語活動の充実, 教職員の校務負担削減のために, ICT機器(タブレット端末, ネットワーク機器設置等)の整備を行います。				
事業全体としての課題			文部科学省で掲げていますGIGAスクール構想の実現に向けて, 学校教育環境の整備を計画的に実施していく必要があります。また, 教職員が授業の準備等で時間外の業務に追われることもあり, 校務の効率化も求められています。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	ICT機器導入整備	タブレット配備		台	令和3年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	84	760	760	
			実績値	84	760		
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	3,426	4,897	18,651	0
	実績額計	0	0	3,426	4,897	18,651	0
	予算額計	0	0	3,426	4,897	78,972	49,324
執行率	0.00%	0.00%	100.00%	100.00%	23.62%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	タブレット導入	タブレット端末を導入し, 機器を活用して効果的効率的な学習に繋げる。				台	760
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
文部科学省が進めているGIGAスクール構想の実現に向けて整備を進めます。一人一台端末の整備, ネットワーク機器の充実など, ICT機器がより快適に使えるよう環境の充実に努めます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		教育委員会		生涯学習課					
事業名	放課後児童健全育成事業	予算	会計	一般会計					
根拠法令	児童福祉法		款	教育費					
			項	社会教育費					
			目	社会教育総務費					
			事業	放課後児童健全育成事業					
体系	政策	顧客(誰を)	小学校に就学し、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童						
	施策	意図(どのように)	居場所の提供の他、放課後児童支援員による生活指導等により、児童の健全育成を図ります。						
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の就労等を起因とし、放課後、家庭に保護者がいない児童について、安心できる居場所の提供の他、支援員による生活指導により、児童の健全育成を図ります。 学校の余裕教室又は敷地内の施設を学童保育専用施設として、支援員を配置し、放課後や長期休暇等に児童を保育しています。 民間学童保育事業者の内、国の基準を満たしている事業者には運営経費の補助を行っています。(国1/3、県1/3、市1/3) 							
事業全体としての課題		<ul style="list-style-type: none"> 支援員の質の向上と民間活力による多様な保護者ニーズの対応を目的に石岡市放課後子どもプラン運営委員会において民間委託の是非を含めた検討を進めています。 児童数においては、既に定員となっている児童クラブもあります。夏休みにおいて定員超える施設があります。 保育時間を規則で8時から18時30分までと定めていますが、保護者から延長保育を希望する声があり、検討する必要があります。 							
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	児童クラブ利用者数 (公立及び民間児童クラブ)	公民併せた児童クラブ利用児童数 (各年度5月1日時点児童数)		人	令和3年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	1,045			1,031	1,126	
	実績値	1,045	1,031						
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	29,366	29,625	36,740	74,075	57,178	0		
	県支出金	29,366	30,345	35,202	48,428	46,112	0		
	地方債	0	0	0	0	0	0		
	その他	25,491	26,899	31,095	32,212	33,586	0		
	一般財源	34,781	36,937	35,309	44,811	37,557	0		
	実績額計	119,004	123,806	138,346	199,526	174,433	0		
	予算額計	127,037	127,282	140,559	202,819	179,516	283,445		
執行率	93.68%	97.27%	98.43%	98.38%	97.17%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	児童クラブ開設校	児童クラブを開設している小学校数				校	19		
	支援員数	児童クラブに勤務する支援員の人数(4月1日時点)				人	109		
	放課後児童対策事業補助金の交付による登録児童数の増加	市が補助している民間学童保育事業者が運営する放課後児童クラブに登録している児童数(5月1日時点)				人	176		
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)			
<p>公立児童クラブ運営の効率化、支援員の資質向上と確保に努めるとともに、民間学童保育事業者の参入を促すため、石岡市放課後子どもプラン運営委員会において公立児童クラブの民間委託の是非を含めた検討を進めています。また、保護者の早く預けたい、遅くまで預けたいという要望に対応するため、時間延長も検討していきます。</p>						令和2年度			

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	放課後子ども教室推進事業			会計	一般会計		
根拠法令	石岡市放課後子ども教室事業運営要綱			款	教育費		
体系	政策	05 健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ		項	社会教育費		
	施策	03 子育て環境の充実		目	社会教育総務費		
				事業	放課後子ども教室推進事業		
		顧客 (誰を)	放課後子ども教室を実施している小学校・幼児教育施設において事業に参加希望をした小学生児童・幼児				
		意図 (どのように)	社会性・自主性・創造性を育みます。				
事業の概要		地域の方々の参画を得ながら、様々な体験学習・交流活動等を定期的・継続的に提供し、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育みます。また、世代間交流等により、地域社会の子どもを育てる教育力の向上を図ります。					
事業全体としての課題		実施校においては、子どもたちの社会性・自主性・創造性を養うこと、また、地域全体で教育体制を作り上げることを目的として実施しています。協働活動支援員や地域ボランティアの確保に課題がありますが、継続的に実施していけるよう支援体制を構築します。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	参加児童・幼児数（延べ人数）	放課後子ども教室に参加した延べ人数です。		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2,279	2,520	3,020		
		実績値	2,279	2,440			
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	488	428	567	400	449	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	431	343	385	334	292	
	実績額計	919	771	952	734	741	0
	予算額計	1,408	1,580	1,425	1,396	1,381	855
執行率	65.27%	48.80%	66.81%	52.58%	53.66%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	実施校数	放課後子ども教室を実施した小学校数				校	11
	実施回数	放課後子ども教室を実施した回数				回	88
	協力者数	放課後子ども教室に協力してくれた方の人数（協働活動支援員数）				人	22
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
地域の協力者、ボランティア及び学校と連携して事業を実施し、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性をおん養うことができました。また、市内全校での実施と、放課後児童クラブに入所する児童も含めて希望者全員が参加でき、効率的な運営ができるよう石岡市放課後子どもプラン運営委員会において民間委託の是非を含む検討を進めています。					令和2年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	施設維持管理経費		予算	会計	一般会計		
		款		教育費			
		項		社会教育費			
		目		青少年ホーム費			
根拠法令	石岡市勤労青少年ホーム条例		事業	施設維持管理経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	市内に居住又は勤務する15歳以上おおむね30歳未満の勤労青少年		
	施策	03 生涯学習の推進		意図(どのように)	福祉を増進し、健全に育成します。		
事業の概要			スポーツ、レクリエーション、趣味、教養などコミュニティー活動の場として利用できる施設で、軽運動室、料理講習室、集会室、音楽室、和室、図書室、体育館を利用できるように管理しています。平成21年度より指定管理者制度を導入しています。				
事業全体としての課題			施設の老朽化が進んでいるため、利用者が安心安全に使用できるように施設の適切な管理が必要です。また、施設の利用促進を図るためにも市報やホームページ等を利用して広報活動に努めます。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	施設の利用者数	1年間の施設の延べ利用者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	41,000	41,000	41,000		
		実績値	36,403	31,925			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	12	12	12	12	12	0
	一般財源	8,074	8,871	8,725	8,859	9,339	0
	実績額計	8,086	8,883	8,737	8,871	9,351	0
	予算額計	8,139	9,548	8,816	8,940	9,469	20,633
執行率	99.35%	93.04%	99.10%	99.23%	98.75%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施設の開館日数	1年間の施設の開館日数				日	311
	施設の利用者数	1年間の施設の延べ利用者数				人	31,925
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
施設利用者の安心安全を第一に考え、施設の耐震安全性を確保するため施設の修繕を図っていきます。利用者の増加を目指し、市民への周知を図ります。						令和5年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	社会教育振興事業		会計	一般会計			
根拠法令	社会教育法		款	教育費			
			項	社会教育費			
			目	社会教育総務費			
			事業	社会教育振興事業			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	市民、社会教育活動を実践する団体など		
	施策	03 生涯学習の推進		意図(どのように)	社会教育、女性教育の促進を図ります。		
事業の概要		社会教育の充実を図ります。・社会教育委員会の開催等 ・オアシス運動（あいさつに関する運動として標語や作文の募集及び表彰） ・市民講師の紹介、出前講座の実施、成人式の式典を開催 ・片野集会所の修繕、石岡市PTA連絡協議会及び石岡市地域女性団体連絡協議会への補助					
事業全体としての課題		<ul style="list-style-type: none"> ・市民講師については、講師の高齢化により登録人数が減少しており、市民の生涯学習を支援する上で市民講師の確保が課題です。 ・成人式については、令和4年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられることに伴い、成人式の在り方を見直す必要があります。 ・石岡市地域女性団体連絡協議会については、会員の高齢化、減少が続いており、組織の存続が懸念されています。 					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	市民講師講座参加者数	市民講師を活用した講座の参加者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	9,500	9,500	9,500		
	実績値	11,102	8,470				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	15,660	15,619	15,521	13,986	13,959	0
	実績額計	15,660	15,619	15,521	13,986	13,959	0
	予算額計	17,168	16,802	17,867	14,801	14,921	7,944
執行率	91.22%	92.96%	86.87%	94.49%	93.55%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	石岡市PTA連絡協議会 会員数	市内小中学校PTA活動の連携、会員の資質向上を図ることを目的とした協議会の会員数				人	4,629
	石岡市地域女性連絡協議会 会員数	会員相互の親睦を深め、教養と生活技術の向上を図り、女性の会の活動を促進し地域社会の充実を図ることを目的とした協議会の会員数				人	226
	出前講座メニュー数	各担当課で設定する出前講座のメニュー数の合計				講座	58
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
出前講座や市民講師制度について、より効果的な効率的な運営方法を検討し、市民循環型の生涯学習を目指します。成人式については、成人者にとって意味のある式典となるよう、成人式実行委員会主体での運営に努めると共に、令和4年4月からの成人年齢の引き下げを踏まえ、成人式の在り方を検討する必要があります。					令和4年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	キャンプ場維持管理経費	予算	会計	一般会計			
			款	教育費			
			項	社会教育費			
			目	青少年育成費			
根拠法令	石岡市龍神の森キャンプ場条例	事業	キャンプ場維持管理経費				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	一般市民			
	施策	03 生涯学習の推進	意図(どのように)	野外活動を通じて自然とふれあい、健康を増進します。			
事業の概要		龍神の森内に整備されたキャンプ場の維持管理業務を行います。 面積：約13,500㎡ 管理棟・炊き場炊事場8か所・バーベキューサイト2か所・テントサイト15か所・キャンプファイアールーム					
事業全体としての課題		冬場などの閑散期の有効活用について考慮の余地があります。また、近隣公共施設との一体的な管理運営など施設の外部委託による効率的な運営を検討し利用者の増加を図っていきます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	キャンプ場利用者数	1年間のキャンプ場の延べ利用者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1,500	1,500	1,500		
	実績値	975	1,557				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	101	92	96	86	110	0
	一般財源	3,915	2,739	2,016	2,474	2,217	0
	実績額計	4,016	2,831	2,112	2,560	2,327	0
	予算額計	4,138	3,025	2,284	2,865	2,524	2,934
執行率	97.05%	93.59%	92.47%	89.35%	92.19%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	キャンプ場除草作業回数	1年間のキャンプ場除草回数				日	4
	キャンプ場利用日数	1年間のキャンプ場利用日数				日	85
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
青少年の健全な育成と市民の健康増進のために開設されたキャンプ場であるため、多くの市民に利用されるよう効果的な宣伝を行う必要があります。また、施設の運営について、外部委託を検討していく必要があります。						令和5年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名				
		教育委員会		生涯学習課				
事業名	中央図書館管理運営経費		予算	会計	一般会計			
根拠法令	石岡市立中央図書館条例・石岡市立中央図書館規則			款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	社会教育費			
	施策	03 生涯学習の推進		目	図書館費			
			事業	中央図書館管理運営経費				
			顧客(誰を)	一般市民及び図書館利用者				
			意図(どのように)	図書館を快適に利用できる環境やサービスを整えます。				
事業の概要			中央図書館及び公民館図書室において、図書資料等の貸出サービスや図書情報の発信を行っています。また、各種講座や講演会等を開催することにより、生涯学習拠点として学習機会の創出を図る活動を行っています。また、八郷総合支所2階に図書館を作るため、開館に向け具体的な計画・準備を進めている状況です。					
事業全体としての課題			図書館利用者数、図書資料の貸出し数が、少子高齢化等の影響により伸び悩んでいます。また施設及び設備の老朽化と狭あい化による図書館環境の悪化が顕在化しています。「複合文化施設」建設のスケジュール未定の影響により、施設や設備の改修等の具体的な計画の立案が滞っています。八郷総合支所2階図書館のレイアウトや選書について検討している状況です。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度	
	最終目標	図書館資料貸出総数	・公民館図書室3館も含んだ総数。 ・1人当たり1回平均約4冊の貸出。			冊	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	304,000	306,000	304,000			
	実績値	268,716	260,035					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	
	その他	23	17,321	14,817	14,900	2,478	0	
	一般財源	46,614	66,609	58,886	59,161	74,793	0	
	実績額計	46,637	83,930	73,703	74,061	77,271	0	
	予算額計	49,219	83,930	77,888	77,648	83,485	94,024	
執行率		94.75%	100.00%	94.63%	95.38%	92.56%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等					単位	実績値
	購入図書数	当該年度に購入した図書数					冊	7,163
	図書館資料蔵書総数(一般書・児童書・雑誌)	前年度蔵書数+当該年度購入図書数-当該年度除籍図書数					冊	205,013
	図書館資料蔵書総数(視聴覚資料-DVD・CD)	図書館資料蔵書総数の内、視聴覚資料(DVD・CD)の数					作品	4,594
事業の成果と今後の方向性							見直し年度(目標年度)	
利用者のニーズに沿った図書館運営の実現を図ります。							令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	家庭教育推進事業	予算	会計	一般会計			
根拠法令	社会教育法		款	教育費			
			項	社会教育費			
			目	社会教育総務費			
			事業	家庭教育推進事業			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	市民(特に子どもの保護者)			
	施策	03 生涯学習の推進	意図(どのように)	家庭教育の推進を図ります。			
事業の概要		家庭教育の推進を図るための各種事業を実施します。・石岡市家庭教育力向上委員会の設置(推進体制の組織化)・家庭教育学級の開催(幼・保育園、小学校、中学校の保護者を対象に施設毎に開催)・子育て学習講座の開催(就学時健康診断の際に実施)・訪問型家庭教育の実施、乳幼児期親力アップ講座の開催、生涯学習の集いの開催					
事業全体としての課題		現代における核家族化や地域社会のつながりの希薄化を背景として、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立してしまうなど、保護者を支援する重要性が増しており、保護者が家庭教育に関する正しい理解をもち、ふさわしい教育機能を確立させることができるよう支援する必要性が高まっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	小中学校における長期欠席児童生徒数	30日以上小中学校を欠席した児童生徒数(病欠や親の都合も含まれる)		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	96	92	88		
	実績値	83	119				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	616	930	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	880	680	0
	実績額計	0	0	0	1,496	1,610	0
	予算額計	0	0	0	2,620	2,738	2,629
執行率	0.00%	0.00%	0.00%	57.10%	58.80%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	家庭教育学級実施施設数	家庭教育学級を実施する施設(小中学校及び幼児教育施設)の数				施設	29
	子育て学習講座実施校数	子育て学習講座実施した小学校の数				校	19
	家庭教育支援員数	訪問型家庭教育による保護者対応を行う家庭教育支援員の数				人	4
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
家庭教育学級を継続して実施し、家庭教育に関する情報提供等を多くの保護者に提供できたことで子どもの生活の基盤である家庭教育の充実が図られました。しかし、小中学校では全ての施設で実施しているものの、幼児教育施設においては一部でしか実施していないため、実施機関への積極的な実施を促していきます。また、その他の事業についても家庭教育を積極的に推進していくため、随時内容の見直しを行っていきます。						令和5年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	イベント広場管理経費		会計	一般会計			
根拠法令	いしおかイベント広場管理要綱		款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	社会教育費			
	施策	05 文化・芸術の推進	目	図書館費			
			事業	イベント広場管理経費			
顧客(誰を)	一般市民						
意図(どのように)	イベント広場を有効に活用していただく						
事業の概要		広場の維持管理業務及び広場利用者への予約受付、貸出業務を行うものです。					
事業全体としての課題		「いしおかイベント広場」は、「複合文化施設」の建設予定地でしたが、「合併特別債」事業の見直しで建設が凍結されています。凍結以降も図書館業務と関連性のない広場の維持管理業務を中央図書館が所管している状況です					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	管理業務実施回数	市としての方向性が決まるまで、苦情が出ないように除草や砂利の敷き均しなどを実施し、適正に管理するための実施回数を指標とする。		回	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	164	164	164		
	実績値	166	166				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	42	42	42	42	42	0
	一般財源	3,930	1,485	1,325	1,690	1,480	0
	実績額計	3,972	1,527	1,367	1,732	1,522	0
	予算額計	4,443	1,527	1,563	2,459	1,949	2,082
執行率	89.40%	100.00%	87.46%	70.44%	78.09%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	除草作業回数	年間の除草作業の実施回数				回	4
	トイレ清掃作業回数	年間のトイレ清掃作業回数				回	159
	砂利敷き均し工事	年間の駐車場砂利敷き作業				回	2
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
イベント広場の有効活用という点では、成果がありますが、イベント広場の維持管理を中央図書館が担っていることについて、妥当性を検討する必要があります。また、複合文化施設の建設について検討する必要があります。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	青少年育成事業		予算	会計	一般会計		
		款		教育費			
		項		社会教育費			
根拠法令	石岡市茨城県青少年の健全育成等に関する条例施行規則, 石岡市青少年相談員等規則			目	青少年育成費		
			事業	青少年育成事業			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	青少年		
	施策	06 青少年の健全育成		意図(どのように)	健全に育成します。		
事業の概要			青少年相談員による街頭活動及び青少年相談員協議会の各種活動を補助支援します。「少年の主張発表会」、「あいさつ・声かけ運動」、「家庭の日絵画・ポスターコンクール」など青少年を育てる石岡市民の会が行う事業活動を補助支援します。				
事業全体としての課題			家庭、学校、地域が連携を取り合いながら、青少年に対する指導体制の充実や社会環境の健全化活動により、市民ぐるみで地域に根ざした青少年の健全な育成を図っていく必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	青少年相談員街頭活動等の声かけ回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭巡回活動等の際に行う声かけ回数		回	令和3年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	2,000	2,000	2,000	
			実績値	2,894	3,277		
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,023	7,186	7,035	7,131	6,489	0
	実績額計	7,023	7,186	7,035	7,131	6,489	0
	予算額計	7,297	7,371	7,407	7,605	7,324	7,392
執行率	96.25%	97.49%	94.98%	93.77%	88.60%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	石岡市青少年相談員活動事業	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動等に参加する延べ人数				人	497
	石岡市青少年相談員協議会補助金	青少年相談員協議会による「青少年相談員だより」発行回数				回	2
	青少年を育てる石岡市民の会補助金	青少年を育てる石岡市民の会支部会員の総数				戸	11,796
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
青少年相談員の街頭巡回活動は定期的には実施されていますが、仕事をもつ相談員の活動参加が難しいため、活動へ参加できるような事業計画を検討していく必要があります。					令和4年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		生涯学習課			
事業名	子ども会育成事業	予算	会計	一般会計			
			款	教育費			
			項	社会教育費			
			目	青少年育成費			
根拠法令	石岡市子ども会育成連合会補助金交付要綱	事業	子ども会育成事業				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	市内子ども会会員(主に小学1年生から6年生)			
	施策	06 青少年の健全育成	意図(どのように)	子ども会活動の向上発展と児童の福祉増進を図ります。			
事業の概要		石岡市子ども会育成連合会が実施する事業を支援し、行政と子ども会育成連合会協働のもと次世代を担う青少年主に子ども会会員の健全育成を目指しています。					
事業全体としての課題		石岡市子ども会育成連合会会員数が毎年減少しています。そのため事業への参加人数も減っています。石子連に入らない理由の多くは、役員になると負担が増えるという保護者によるものがほとんどです。少子化により児童数が減少する中、石岡市子ども会育成連合会会員数を維持することが課題となります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	小学生の単位子ども会加入率	市内小学生が単位子ども会に加入している割合		%	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	70	70	70		
	実績値	64.8	63.3				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,191	1,935	1,872	1,771	1,876	0
	実績額計	2,191	1,935	1,872	1,771	1,876	0
	予算額計	2,214	2,245	2,167	2,088	2,026	1,957
執行率	98.96%	86.19%	86.39%	84.82%	92.60%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	子どもフェスティバル開催	子どもフェスティバル開催回数				回	1
	石岡市子ども会育成連合会補助金	石岡市子ども会育成連合会による事業の開催回数				回	5
	全国子ども会安全共済会加入者数	全国子ども会安全共済会加入者数				人	3,963
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
年々子ども会加入児童数は減少傾向ですが、児童の健やかな成長に大切な役割を果たしている子ども会事業について、引き続き支援をしていく必要があります。					令和4年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名					
		教育委員会		文化振興課					
事業名	芸術・文化振興事業		会計	一般会計					
根拠法令			款	教育費					
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	社会教育費					
	施策	05 文化・芸術の推進	目	文化事業費					
			事業	芸術・文化振興事業					
顧客(誰を)	市民, 各種文化芸術団体								
意図(どのように)	市民が文化芸術に親しみ創る人と観る人が交流できる創造性豊かな地域文化の向上を図る。								
事業の概要		市美術展の開催をはじめ, 市民が主体的に取り組み活動する文化芸術団体の支援を通して, 市民が文化芸術に触れる機会を提供し, 文化芸術活動の振興を図ります。							
事業全体としての課題		高齢化の進展等により, 文化芸術活動に取り組む人が減少してきていることから, 市民の幅広い参加を促進する取り組みを進めていく必要があります。本市には文化・芸術を愛好する団体や市民が多いことから, 市民の自主的な活動の成果を発表する場の提供や機会を創出する必要があります。							
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度			
	最終目標	石岡市美術展の開催	石岡市美術展の鑑賞者数		人	令和元年度			
			年度	平成30年度			令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	1,200			1,200	1,200	
実績値	920	817							
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0			
	一般財源	8,873	3,562	4,377	4,292	3,257	5,641		
	実績額計	8,873	3,562	4,377	4,292	3,257	0		
	予算額計	8,966	3,598	5,015	5,087	3,962	5,641		
執行率	98.96%	99.00%	87.28%	84.37%	82.21%	0.00%			
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値		
	石岡市美術展の開催	石岡市美術展出品点数				点	168		
	石岡市文化協会補助金	石岡市文化協会の会員数				人	2,565		
	石岡アート協会補助金	石岡アート協会会員数				人	152		
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)				
これまで文化芸術団体や市民と連携をはかりながら, 市民の自主的な文化芸術活動の展開に取り組んできました。今後は将来の世代が地域の文化や伝統を守り育てるため, 市民の自主的な文化活動を支援します。また, その担い手である市民の意見が反映された文化芸術推進基本計画が策定したことから計画の進行管理に努めていきます。					令和2年度				

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		文化振興課			
事業名	発掘調査経費	予算	会計	一般会計			
根拠法令	文化財保護法		款	教育費			
			項	社会教育費			
			目	文化事業費			
			事業	発掘調査経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客 (誰を)	開発全般に関わる市民、文化財に興味ある市民			
	施策	07 歴史・文化財の保護・活用	意図 (どのように)	文化財の重要性を認識し、保護意識を共有化します。			
事業の概要		石岡市には多くの遺跡が存在し、それぞれが常に破壊される危機に瀕しています。これらの地元に残る貴重な歴史遺産を可能な限り後世に残す必要があることから、開発に伴う試掘調査を行います。また、重要遺跡確認調査として外城遺跡や常陸国分寺跡などの調査を行います。					
事業全体としての課題		石岡市内における民間開発が多く、そのすべての把握はしきれていない状況です。また、公共事業との連携も取り切れておらず問題があります。また、鉄製品など文化財には脆いものも多く、いかに保存処理を施していくかも課題です。さらに、活用の検討に割くための人員・時間が足りず、十分に成果を市民に還元できていません。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	発掘調査の実施	試掘調査で遺跡の有無を確認します。遺跡が確認された時は保存に関して協議します。保護が困難な場合に限り本格的に調査します。		件	令和2年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	60	60	60	
	実績値	75	70				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	3,647	3,640	2,543	4,573	4,578	7,140
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	1,082
	一般財源	15,959	6,320	5,260	5,698	6,916	10,312
	実績額計	19,606	9,960	7,803	10,271	11,494	0
	予算額計	20,926	12,578	9,522	12,655	14,116	18,534
執行率	93.69%	79.19%	81.95%	81.16%	81.43%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	開発行為に伴う試掘調査	発掘調査及び試掘調査等件数				件	70
	茨城廃寺跡・外城遺跡発掘調査	範囲確認調査面積				m ²	300
	発掘調査に伴う作業員数	発掘調査及び整理作業に伴う作業員数				人	666
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
令和元年度は全体的な件数は例年よりやや多いといえます。発掘調査は大変重要な事業であることから、今後も事業を現状維持で実施します。ただし、依然として、全ての開発を把握できていない状況ではないため、今後はより活用をはかることにより、文化財の重要性を市民に広げていきます。茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い茨城廃寺跡とともに国指定化を目指します。						毎年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		文化振興課			
事業名	文化財保護保存及び普及経費	予算	会計	一般会計			
			款	教育費			
			項	社会教育費			
			目	文化事業費			
根拠法令	文化財保護法	事業	文化財保護保存及び普及経費				
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	顧客(誰を)	一般市民及び各種団体			
	施策	07 歴史・文化財の保護・活用	意図(どのように)	貴重な歴史遺産の保護・保存のため、歴史・文化財に対する保護意識を高める。			
事業の概要		ふるさと歴史館等における企画展や市民史跡めぐりの開催、出前講座や学校からの要請、「歴史ボランティアの会」による文化財の案内により、文化財の普及啓発を行っています。ふるさと歴史館、農村資料館、文化財管理センターの適切な維持管理をしてきます。					
事業全体としての課題		石岡市には7件の国指定文化財(史跡・建造物)が存在し、今後、各文化財について保存活用計画を策定していく必要があります。常陸国府跡の可視化など、これら文化財を利用して、街づくりへ活かす取組をしていく必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	ふるさと歴史館入館者数	年間のふるさと歴史館入館者数		人	令和2年度	
			年度	平成30年度			令和元年度
		目標値	2,800	2,800	2,800		
		実績値	3,015	2,784			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	488	488	2,090	2,018	1,923	523
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	201	206	177	197	231	8,788
	一般財源	15,664	19,765	20,308	19,306	19,840	22,093
	実績額計	16,353	20,459	22,575	21,521	21,994	0
	予算額計	25,198	23,394	33,082	24,966	24,961	31,404
執行率	64.90%	87.45%	68.24%	86.20%	88.11%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	ふるさと歴史館(旧民俗資料館)の入館者数	年間のふるさと歴史館(旧民俗資料館)開館日数の目標設定				日	284
	指定無形民俗文化財公開補助金	指定無形民俗文化財の団体数の目標設定				団体	9
	文化財防災設備補助金	防災設備の点検が必要な指定文化財(建造物)の物件数の目標設定				件	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
文化財の保護保存及び活用事業は、今後ますます重要度が増すと思われることから、普及啓発の推進をはかっていきます。また、国指定文化財については、令和元年度に常陸国分寺跡の保存活用計画を策定しました。今後は、文化財保存活用地域計画の作成に取り組んでいきます。また、国指定を受けた史跡の公有地化を計画的に取り組んでいきます。						令和4年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		中央公民館			
事業名	城南地区公民館管理運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	社会教育法・石岡市公民館条例			款	教育費		
				項	社会教育費		
				目	公民館費		
			事業	城南地区公民館管理運営経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	一般市民等		
	施策	03 生涯学習の推進		意図(どのように)	生涯学習の推進		
事業の概要			各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の維持管理等を実施します。地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。				
事業全体としての課題			高齢化社会が進む中、生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図るには、ニーズにあった講座の開催等により、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が望まれます。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	公民館利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数		人	令和3年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	20,600	20,600	20,600	
			実績値	19,828	17,499		
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	180	141	191	161	157	0
	一般財源	13,176	13,613	13,113	13,134	13,786	0
	実績額計	13,356	13,754	13,304	13,295	13,943	0
	予算額計	13,466	14,285	14,342	14,607	14,623	16,364
執行率	99.18%	96.28%	92.76%	91.02%	95.35%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	1年間に開催する講座の数	市民の学習意欲の向上、生涯学習・の場として前期・後期・通年と開催する講座数				講座	27
	同好会の数	講座受講修了者による自主的活動(同好会)の数				団体	20
	植栽作業の回数	環境美化の為に敷地内植栽を行った回数				回	15
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう、各種講座・学級等を開催し、学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し、施設環境を整備するとともに、利用者の拡大を図ります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		中央公民館			
事業名	府中地区公民館管理運営経費		会計	一般会計			
根拠法令	社会教育法・石岡市公民館条例		款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	社会教育費			
	施策	03 生涯学習の推進	目	公民館費			
			事業	府中地区公民館管理運営経費			
		顧客(誰を)	一般市民等				
		意図(どのように)	生涯学習の推進				
事業の概要		各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の維持管理等を実施します。地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。					
事業全体としての課題		高齢化社会が進む中、生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図るには、ニーズにあった講座の開催等により、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が望まれます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	公民館利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	20,600	20,600	20,600		
		実績値	19,000	17,451			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	203	241	159	182	190	0
	一般財源	32,442	12,389	10,823	12,531	13,128	0
	実績額計	32,645	12,630	10,982	12,713	13,318	0
	予算額計	34,984	13,156	13,043	14,103	19,648	65,312
	執行率	93.31%	96.00%	84.20%	90.14%	67.78%	0.00%
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	1年間に開催する講座の数	市民の学習意欲の向上、生涯学習・の場として前期・後期・通年と開催する講座数				講座	26
	同好会の数	講座受講修了者による自主的活動(同好会)の数				団体	16
	植栽作業の回数	環境美化の為に敷地内植栽を行った回数				回	8
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう、各種講座・学級等を開催し、学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し、施設環境を整備するとともに、利用者の拡大を図ります。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		中央公民館			
事業名	国府地区公民館管理運営経費		会計	一般会計			
根拠法令	社会教育法・石岡市公民館条例		款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	社会教育費			
	施策	03 生涯学習の推進	目	公民館費			
			事業	国府地区公民館管理運営経費			
		顧客(誰を)	一般市民等				
		意図(どのように)	生涯学習の推進				
事業の概要		各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の維持管理等を実施します。地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。					
事業全体としての課題		高齢化社会が進む中、生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図るには、ニーズにあった講座の開催等により、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が望まれます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	公民館利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	33,400	33,400	33,400		
		実績値	34,360	29,700			
事業計画	過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	304	270	405	383	333	0
	一般財源	11,912	12,058	11,768	12,832	12,607	0
	実績額計	12,216	12,328	12,173	13,215	12,940	0
	予算額計	13,402	13,507	13,405	14,460	13,689	15,610
執行率	91.15%	91.27%	90.81%	91.39%	94.53%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	1年間に開催する講座の数	市民の学習意欲の向上、生涯学習の場として前期・後期・通年と開催する講座数				講座	33
	同好会の数	講座受講修了者による自主的活動(同好会)の数				団体	32
	植栽作業の回数	環境美化の為に敷地内植栽を行った回数				回	4
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう、各種講座・学級等を開催し、学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し、施設環境を整備するとともに、利用者の拡大を図ります。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		中央公民館			
事業名	東地区公民館管理運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	社会教育法・石岡市公民館条例			款	教育費		
				項	社会教育費		
				目	公民館費		
			事業	東地区公民館管理運営経費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		顧客(誰を)	一般市民等		
	施策	03 生涯学習の推進		意図(どのように)	生涯学習の推進		
事業の概要			各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の維持管理等を実施します。地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。				
事業全体としての課題			高齢化社会が進む中、生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図るには、ニーズにあった講座の開催等により、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が望まれます。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	公民館利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	27,300	27,300	27,300		
		実績値	30,865	28,397			
事業計画	過年度(決算額) 平成27年度	過年度(決算額) 平成28年度	過年度(決算額) 平成29年度	過年度(決算額) 平成30年度	過年度(決算額) 令和元年度	現年度(予算額) 令和2年度	将来年度(予測額) 令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	399	355	417	413	398	0
	一般財源	19,490	19,544	17,972	18,926	18,645	0
	実績額計	19,889	19,899	18,389	19,339	19,043	0
	予算額計	19,982	20,661	20,367	20,440	20,854	22,524
	執行率	99.53%	96.31%	90.29%	94.61%	91.32%	0.00%
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	1年間に開催する講座の数	市民の学習意欲の向上、生涯学習の場として前期・後期・通年と開催する講座数				講座	22
	同好会の数	講座受講修了者による自主的活動(同好会)の数				団体	29
	植栽作業の回数	環境美化の為に敷地内植栽を行った回数				回	10
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう、各種講座・学級等を開催し、学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し、施設環境を整備するとともに、利用者の拡大を図ります。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		中央公民館			
事業名	中央公民館管理運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	社会教育法・石岡市公民館条例			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	社会教育費		
	施策	03 生涯学習の推進		目	公民館費		
			顧客(誰を)	一般市民等			
			意図(どのように)	生涯学習の推進			
事業の概要			各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の維持管理等を実施します。地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。				
事業全体としての課題			高齢化社会が進む中、生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図るには、ニーズにあった講座の開催等により、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が望まれます。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	公民館利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	53,000	53,000	53,000		
	実績値	53,362	42,048				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	595	419	584	513	488	0
	一般財源	25,582	20,351	20,147	20,346	37,443	0
	実績額計	26,177	20,770	20,731	20,859	37,931	0
	予算額計	28,968	22,212	22,072	22,664	39,435	29,111
執行率	90.37%	93.51%	93.92%	92.04%	96.19%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	1年間に開催する講座・学級の数	市民の学習意欲の向上、生涯学習の場として前期・後期・通年と開催する講座数				講座	26
	同好会の数	講座受講修了者による自主的活動(同好会)の数				団体	41
	花壇作り作業の回数	環境美化の為に敷地内の花壇に花苗等を植えた回数				回	5
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう、各種講座・学級等を開催し、学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し、施設環境を整備するとともに、利用者の拡大を図ります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		中央公民館			
事業名	八郷地区公民館管理運営経費		会計	一般会計			
根拠法令	社会教育法・石岡市公民館条例		款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	社会教育費			
	施策	03 生涯学習の推進	目	公民館費			
			事業	八郷地区公民館管理運営経費			
		顧客(誰を)	一般市民等				
		意図(どのように)	生涯学習の推進				
事業の概要		各種講座、学級等の開催による学習機会の提供・各種団体の公民館使用による支援・公民館の維持管理等を実施します。地域における生涯学習の推進を図るとともに、公民館の向上発展に努めます。					
事業全体としての課題		高齢化社会が進む中、生きがいのある「人生」を送るための公民館活動の促進を図るには、ニーズにあった講座の開催等により、地域に根ざした活動、特性を生かした公民館活動が望まれます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	公民館利用者数	講座・各種イベント等の参加者等数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	19,500	19,500	19,500		
		実績値	31,907	29,687			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	15,909	19,207	112,199	21,321	38,797	0
	実績額計	15,909	19,207	112,199	21,321	38,797	0
	予算額計	18,763	21,771	119,998	23,596	41,823	41,930
執行率	84.79%	88.22%	93.50%	90.36%	92.76%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	1年間に開催する講座等の数	市民の学習意欲の向上・生涯学習の場として前期・後期・通年と開催する講座数				講座	82
	1年間に開催する地域活動の数	地区公民館ごとに特色を生かした文化祭・運動会等の実施回数				回	26
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
市民が生涯いきいきとした生活が送れるよう、学習の機会を提供します。市民のニーズに合った事業を展開し、市民の学習の機会と交流の場を提供します。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	柏原運動施設維持管理経費			会計	一般会計		
根拠法令	都市公園条例・都市公園体育施設の使用規則			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	04 生涯スポーツの推進		目	保健体育施設費		
		顧客 (誰を)	施設利用者				
		意図 (どのように)	環境設備を整えます。				
事業の概要		施設の維持管理・運営を指定管理者が行っています。					
事業全体としての課題		施設の維持管理運営を指定管理者が行っていて、今後も継続していきます。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者数	野球場11,000人・テニスコート51,000人・サッカー場13,000人・球技公園5,000人		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	80,000	80,000	80,000		
	実績値	72,885	63,908				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	6	48	128	48	41	0
	一般財源	15,070	15,515	15,269	19,123	16,078	0
	実績額計	15,076	15,563	15,397	19,171	16,119	0
	予算額計	16,185	15,704	15,501	19,383	16,169	19,370
執行率	93.15%	99.10%	99.33%	98.91%	99.69%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	指定管理者委託料	施設の維持管理を指定管理者に委託				千円	13,941
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
利用時間や利用方法などの情報を広報誌やホームページを活用することで広く発信するとともに、施設の充実に取り組み、利用者の増加を図ります。また、利用者からのニーズを把握し、施設改修の検討をします。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	石岡小学校プール開放事業			会計	一般会計		
根拠法令	石岡市立学校の施設の開放に関する規則			款	教育費		
体	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	04 生涯スポーツの推進		目	保健体育施設費		
系		顧客 (誰を)	スポーツ（水泳等）を楽しむ市民（3歳以上）				
		意図 (どのように)	環境設備を整えます。				
事業の概要		市民に石岡小学校プールを通年開放して、市民の体力向上を図るとともに、スポーツ（水泳等）の普及に努めます。					
事業全体としての課題		施設の管理業務を業者に委託し、サービスや安全管理に十分注意を払い、開放事業を行っています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者	石岡小プールの一般開放による年間利用者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	21,500	21,500	21,500		
		実績値	20,411	23,625			
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	2,641	2,932	3,230	3,070	2,832	0
	一般財源	15,606	15,731	15,502	15,841	14,874	0
	実績額計	18,247	18,663	18,732	18,911	17,706	0
	予算額計	18,434	18,664	19,345	18,975	19,466	19,490
執行率	98.99%	99.99%	96.83%	99.66%	90.96%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	プール開館日数	プール開館日数				日	267
	銅銀イオン板交換	銅銀イオン板の交換数				枚	5
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
開放時間・利用方法の周知等を行い、利用者の増加を図ります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	石岡運動公園維持管理経費		会計	一般会計			
根拠法令	都市公園条例・都市公園体育施設の使用規則・石岡運動公園体育施設の使用規則		款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	保健体育費			
	施策	04 生涯スポーツの推進	目	保健体育施設費			
			事業	石岡運動公園維持管理経費			
		顧客(誰を)	施設利用者				
		意図(どのように)	環境設備を整えます。				
事業の概要		施設利用者が石岡運動公園を安全及び快適に利用できるよう、施設の維持管理に努めます。					
事業全体としての課題		石岡運動公園（体育館・陸上競技場・多目的広場・ウォーキングコース他）の老朽化が進み、修繕を必要とする箇所が多数あります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者数	石岡運動公園の体育館・陸上競技場・多目的広場利用者数の合計		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	120,000	120,000	120,000		
		実績値	83,757	131,030			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	6,033	5,713	5,362	238,745	10,800	0
	一般財源	33,287	34,050	35,799	46,484	47,206	0
	実績額計	39,320	39,763	41,161	285,229	58,006	0
	予算額計	41,616	40,593	43,763	285,952	59,977	59,136
執行率	94.48%	97.96%	94.05%	99.75%	96.71%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	除草委託	敷地内の除草、低木剪定、薬剤散布の実施。年間（除草6回・低木剪定2回・殺虫剤散布3回）				回	11
	清掃・設備管理・電気工作物保安委託	体育館内清掃・設備管理・電気保安の委託。				年間	1
	夜間警備業務委託	体育館・陸上競技場の夜間警備の委託。				年間	2
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
関係団体等の自主的で自立したスポーツ活動の推進を図るとともに、充実したスポーツ環境を整えることが必要です。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	八郷運動公園維持管理経費			会計	一般会計		
根拠法令	八郷運動公園条例・同規則・運動広場条例			款	教育費		
体	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	04 生涯スポーツの推進		目	保健体育施設費		
系		顧客 (誰を)	施設利用者（児童から高齢者まで）				
		意図 (どのように)	環境設備を整えます。				
事業の概要		広く市民に施設を利用してもらい、健康増進、体力向上に努めます。					
事業全体としての課題		屋外プール・多目的広場（S53）・武道館（S56）芝生広場・テニスコート（S57）弓道場（H3）ターゲットバードゴルフ（H9・H13）をそれぞれ開設し、現在に至っています。毎年、施設の応急的な修繕等を行っています。屋外プールは、給排水配管が鉄製のため経年劣化により漏水箇所があり、何時配管が破裂してしまうかわからない状態のため、大規模な改修が必要となっています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者数	多目的広場、武道館、弓道場、芝生広場、テニスコート、ターゲットバードゴルフ場及び屋外プールの年間利用人数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	27,000	27,000	27,000		
	実績値	25,901	18,940				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	4,083	48,154	2,908	2,850	2,569	0
	一般財源	22,029	21,455	17,155	19,124	17,614	0
	実績額計	26,112	69,609	20,063	21,974	20,183	0
	予算額計	26,112	71,403	21,319	23,242	22,295	24,576
執行率	100.00%	97.49%	94.11%	94.54%	90.53%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施設作業業務委託	施設作業業務（1年間）				日	200
	プール管理業務委託	契約日数148日				日	148
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
施設の維持管理に努めていますが、老朽化した施設について計画的に改修を行う必要があります。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	海洋センター維持管理経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	海洋センター条例・海洋センター規則			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	04 生涯スポーツの推進		目	保健体育施設費		
			顧客(誰を)	施設利用者			
			意図(どのように)	環境整備を整えます。			
事業の概要			海洋性スポーツの普及を図るとともに、健康・体力保持増進施設として、広く市民が利用出来るよう施設の管理運営に努めます。				
事業全体としての課題			施設の老朽化が進み、修繕を必要とする箇所が多数あります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者数	体育館32,500人 プール1,500人		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	34,000	34,000	34,000		
		実績値	38,047	30,516			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	909	881	795	683	783	0
	一般財源	20,801	19,510	20,145	18,391	17,641	0
	実績額計	21,710	20,391	20,940	19,074	18,424	0
	予算額計	23,271	21,460	21,057	20,052	20,375	45,915
	執行率	93.29%	95.02%	99.44%	95.12%	90.42%	0.00%
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	除草委託	芝・草刈り及び樹木剪定				回	4
	施設清掃・管理・保守委託料	館内清掃・設備管理・電気工作物保安委託。				年間	1
	夜間警備業務委託	夜間警備の委託。				年間	1
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
広く市民が利用出来るよう施設利用に関する周知広報を行い、効率的な運営と利便性の向上を図る必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	運動広場維持管理経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	簡易運動広場要綱・簡易運動広場使用規則			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	04 生涯スポーツの推進		目	保健体育施設費		
			事業	運動広場維持管理経費			
顧客(誰を)	施設を利用する市民						
意図(どのように)	環境設備を整えます。						
事業の概要		運動広場（染谷野球場・小井戸運動広場・少年スポーツ広場）を市民が気持ち良く利用出来るよう、施設の維持管理に努めています。					
事業全体としての課題		全て借地の施設であるため、今後の施設の必要性と土地の返還等について、利用状況を考慮しながら検討する必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者数	小井戸運動広場・少年スポーツ広場・染谷野球場の年間利用者数の合計		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	25,000	25,000	25,000		
		実績値	20,110	11,804			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	12,801	12,833	12,833	13,229	13,341	0
	実績額計	12,801	12,833	12,833	13,229	13,341	0
	予算額計	13,386	12,892	12,868	13,414	13,469	13,821
執行率	95.63%	99.54%	99.73%	98.62%	99.05%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	除草委託	1年間に行う下記作業の回数。草刈33回・除草剤散布12回				回	45
	運動広場の設置数	運動広場の設置数（染谷野球場・小井戸運動広場・少年スポーツ広場）				箇所	3
事業の成果と今後の方向性					見直し年度（目標年度）		
利用状況の精査と施設の維持管理に努めてきましたが、今後、効率的な施設運営を目指し検討をする必要があります。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	スポーツイベント事業		会計	一般会計			
根拠法令			款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	保健体育費			
	施策	04 生涯スポーツの推進	目	保健体育総務費			
			事業	スポーツイベント事業			
		顧客(誰を)	スポーツに親しむ市民				
		意図(どのように)	市民はもとより市外からの参加者を受け入れながら体力向上と石岡市の魅力を伝えます。				
事業の概要		石岡つくばねマラソン及びスポーツイベントを開催し、市民が広くスポーツに参加出来る機会を確保します。					
事業全体としての課題		マラソンは、道路交通の混雑緩和に努めながら、メイン会場を定着させ毎回参加いただける固定ランナーの確保を図っていきます。スポーツイベントは、新たなスポーツ人口の獲得のために、幅広い年齢層が楽しめる様々なスポーツを一つの会場で体験できるイベントを開催します。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	スポーツイベント事業参加者数	石岡つくばねマラソン申込者数、スポーツ教室参加者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2,100	2,100	2,100		
	実績値	1,833	2,027				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,212	4,440	4,305	4,190	4,747	0
	実績額計	4,212	4,440	4,305	4,190	4,747	0
	予算額計	4,600	4,460	4,325	4,195	4,756	0
執行率	91.57%	99.55%	99.54%	99.88%	99.81%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	石岡つくばねマラソン	石岡つくばねマラソンの申込者数				人	1,680
	スポーツイベント教室	スポーツイベント教室の参加者数				人	347
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
市民の体力向上と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めるとともに、市外からの参加者に対して石岡市の魅力を発信します。また、マラソンイベントに関しては更なる参加者を獲得するために、ハーフマラソンの具体化を検討します。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	施設管理運営経費		会計	一般会計			
根拠法令	石岡市農業者トレーニングセンター条例・石岡市農業者トレーニングセンター規則		款	農林水産業費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	農業費			
	施策	04 生涯スポーツの推進	目	農業者トレーニングセンター費			
		顧客(誰を)	事業	施設管理運営経費			
		意図(どのように)	施設利用者(児童から高齢者まで)				
		施設の環境設備を整えます。					
事業の概要		市民の体力向上・健康増進のため、施設の維持管理を行います。					
事業全体としての課題		昭和59年に開設し現在に至っている施設のため、老朽化が激しく、修繕が必要な箇所があります。緊急性等を勘案し、計画的に修繕を行う必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者数(体育館)	年間の体育館利用者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	15,000	15,000	15,000		
		実績値	13,537	11,886			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	117	159	787	1,066	926	0
	一般財源	4,589	4,577	3,653	3,381	4,262	0
	実績額計	4,706	4,736	4,440	4,447	5,188	0
	予算額計	5,036	4,833	4,590	4,874	5,586	4,879
執行率	93.45%	97.99%	96.73%	91.24%	92.88%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施設清掃業務委託	施設清掃 7時間×2人×52日 ワックスがけ年2回(2日)				日	54
	夜間管理業務委託	夜間管理 5時間×1名×305日				日	287
	消防設備保守点検業務委託	保守点検年2回				回	2
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
老朽化した施設の改修を計画的に行いつつ、利用者の利便性の向上を図っていきます。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	社会体育一般経費		会計	一般会計			
根拠法令	スポーツ基本法, 石岡市スポーツ推進審議会条例, 石岡市スポーツ振興基金規則		款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	保健体育費			
	施策	04 生涯スポーツの推進	目	保健体育総務費			
			事業	社会体育一般経費			
		顧客(誰を)	スポーツに携わる市民				
		意図(どのように)	教室・大会の開催によりスポーツに参加する機会を提供する。				
事業の概要		スポーツ推進審議会の開催(施設調査・利用状況の把握)及びスポーツ功労者等の表彰により、スポーツの振興・普及を行っています。 恋瀬川サイクリングコース管理運営協議会への負担金を支出し、コースの維持整備などの管理運営やサイクリングイベントを行っています。					
事業全体としての課題		スポーツに対する市民の関心度が年々増えており、レクリエーション・ニュースポーツ・競技スポーツまで、広く市民が求めているニーズに対応していく必要があります。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	スポーツ振興奨励表彰及び功労表彰者数	スポーツ振興奨励表彰(団体・個人)及び功労表彰(団体・個人)した人数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	20	20	20		
	実績値	10	22				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	35	25	22	22	20	0
	一般財源	1,344	1,393	1,407	1,351	1,575	0
	実績額計	1,379	1,418	1,429	1,373	1,595	0
	予算額計	1,526	1,447	1,473	1,525	1,659	2,079
執行率	90.37%	98.00%	97.01%	90.03%	96.14%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	スポーツ推進審議会の開催	年2回会議の開催				回	1
	スポーツ功労者報償	審査会, 表彰式の実施				回	2
	恋瀬川サイクリングコース管理運営協議会	会議の開催(役員会・総会) 春秋2回大会の開催(石岡市) 秋1回開催(かすみがうら市)				回	2
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
<p>スポーツを愛好する市民のすそ野拡大と、更なる目標への向上に寄与できていると考えます。スポーツを愛好する市民のニーズを把握しながら、表彰基準等の妥当性を検討し、スポーツに関わる人たちの励みとなる施策を展開できるように努めます。</p> <p>また、茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックを契機に、更なるスポーツの普及、ひいては生涯スポーツの推進を目指します。</p>						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	体育振興活動経費		会計	一般会計			
根拠法令	スポーツ基本法		款	教育費			
体 系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	保健体育費			
	施策	04 生涯スポーツの推進	目	保健体育総務費			
			事業	体育振興活動経費			
		顧客 (誰を)	各加盟団体に所属する一般市民及び参加申込者				
		意図 (どのように)	スポーツ活動をとおり教室・大会の開催による交流の場を提供します。				
事業の概要		各スポーツ団体にスポーツ大会・教室等の開催を委託し、当市のスポーツの振興と普及を図ります。市体育協会およびスポーツ少年団に補助金を支出し、各種スポーツ競技の普及発展や指導者育成を行います。					
事業全体としての課題		委託料や補助金の削減に伴い、運営・開催方法等を見直し継続的な開催を目指します。					
成果 指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	スポーツ大会参加者数	招待中学校サッカー大会・青少年剣道大会・石岡地方中学校野球大会・石岡地方中学校ソフト テニス大会・スポーツ推進事業・ターゲットバードゴルフ大会・親善武道大会の参加者数		人	令和2年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	3,400	3,400	3,400		
		実績値	3,124	2,549			
事業計画	過年度 (決算額) 平成27年度	過年度 (決算額) 平成28年度	過年度 (決算額) 平成29年度	過年度 (決算額) 平成30年度	過年度 (決算額) 令和元年度	現年度 (予算額) 令和2年度	将来年度 (予測額) 令和3年度
財源 区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	407	412	427	256	276	0
	一般財源	7,156	7,586	8,913	9,904	7,828	0
	実績額計	7,563	7,998	9,340	10,160	8,104	0
	予算額計	8,873	8,615	9,949	10,853	9,090	9,513
執行率	85.24%	92.84%	93.88%	93.61%	89.15%	0.00%	
アウト プット	指標名	説明等				単位	実績値
	体育協会登録人数	石岡市体育協会の登録人数				人	1,924
	スポーツ少年団登録人数	石岡市スポーツ少年団の登録人数				人	707
	スポーツ推進委員数	石岡市スポーツ推進委員として委嘱する人数				人	35
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
各スポーツ団体等へ大会・教室等の開催を依頼し、スポーツの普及振興を図ってきました。今後も社会情勢の変化や市民ニーズを的確に捉え、ニーズに応えられる事業選定をするなど、更なるスポーツの推進に努めていきます。					令和3年度		

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	学校体育施設開放事業		予算	会計	一般会計		
根拠法令	石岡市学校施設の開放に関する規則			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	04 生涯スポーツの推進		目	保健体育施設費		
			事業	学校体育施設開放事業			
			顧客 (誰を)	施設利用者			
			意図 (どのように)	スポーツの振興普及に努めます。			
事業の概要			小・中学校の体育館・校庭を一般（団体登録が必要）に開放し、地域におけるスポーツ活動の場を提供します。				
事業全体としての課題			現在、屋外照明については有料ですが、体育館照明については無料のため、有料化（受益者負担）について検討する必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	ナイター開放年間利用者数		府中中校庭（夜間）の年間利用人数		人	令和3年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	2,500	2,500	2,500		
		実績値	2,792	2,792			
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	4	18	4	17	5	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
	実績額計	4	18	4	17	5	0
	予算額計	25	20	20	20	20	15
執行率	16.00%	90.00%	20.00%	85.00%	25.00%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	施設の維持管理	火災保険料・原材料費				千円	5
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
学校体育施設の地域における利用促進に寄与していますが、体育館照明について、受益者負担の原則のもとに有料化について検討する必要があります。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		スポーツ振興課			
事業名	朝日スポーツ交流施設管理費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	朝日スポーツ交流施設条例・朝日スポーツ交流施設規則			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	04 生涯スポーツの推進		目	保健体育施設費		
			事業	朝日スポーツ交流施設管理費			
			顧客 (誰を)	施設利用者（児童から高齢者まで）			
			意図 (どのように)	環境設備を整えます。			
事業の概要			市民が施設を安全かつ快適に利用出来るよう、維持管理運営に努めます。				
事業全体としての課題			平成16年3月に廃校となった朝日小学校の体育館が、朝日スポーツ交流施設として市民のスポーツ交流の場となり、現在に至っていますが、施設が管理事務所から遠く管理の目が行き届かないため、指定管理者制度の導入などにより、常駐管理者を配置するなどの対策が必要です。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	年間利用者数	年間の体育館利用者数		人	令和3年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	7,000	7,000	7,000		
	実績値	6,965	5,742				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	将来年度 (予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	30	46	173	180	228	0
	一般財源	969	824	823	904	1,157	0
	実績額計	999	870	996	1,084	1,385	0
	予算額計	1,207	1,064	1,163	1,160	1,525	1,223
執行率	82.77%	81.77%	85.64%	93.45%	90.82%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	朝日スポーツ交流施設消防設備保守点検委託契約	消防設備点検 年2回				回	2
	朝日スポーツ交流施設浄化槽保守点検業務委託契約	浄化槽保守点検 定期点検年4回				回	4
事業の成果と今後の方向性						見直し年度（目標年度）	
指定管理者制度の導入により、利用者の利便性の向上が図ることができます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		学校給食課			
事業名	八郷給食センター調理業務経費			会計	一般会計		
根拠法令	学校給食法			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	01 創意ある学校教育の推進		目	学校給食センター費		
		顧客(誰を)	小・中学校 児童・生徒				
		意図(どのように)	安全で安心な給食の安定提供に努めます。				
事業の概要		八郷地区10小学校・2中学校・県立石岡特別支援学校の児童生徒・教職員分の給食を調理・配送し、生活における食事の大切さを指導します。そのために、関係者全員を対象とした衛生管理講習会(年1回)、栄養士打合せ会議(年5回)を実施しております。また、賄材料納品の時に検収を実施し、品質のチェックを確実にっております。					
事業全体としての課題		保護者の給食に対する関心が高まっていることから、さらなる食の安全性及び徹底した衛生管理が求められています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	給食提供における食中毒の発生防止	給食の調理において食中毒を起こす細菌の発生を防ぐための取り組みを行います。(衛生管理講習会、栄養士打合せ会議、合計年6回)		回	令和元年度	
			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			目標値	6	6	6	
実績値	6	6					
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	3,024	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	97,851	93,628	85,072	82,213	84,344	0
	一般財源	71,414	75,762	83,057	80,385	85,219	0
	実績額計	169,265	169,390	168,129	162,598	172,587	0
	予算額計	169,265	169,390	168,704	164,137	178,554	183,798
執行率	100.00%	100.00%	99.66%	99.06%	96.66%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	学校給食受入室嘱託員数	嘱託員5名 870円				人	5
	厨房機器保守点検回数	厨房機器の保守点検委託料(年2回)				回	2
	石岡市立小学校第3子以降学校給食費免除事業	教育費の負担の大きい多子世帯の負担軽減を図るため、市内の小中学校へ通う児童、第3子以降の給食費を助成します。八郷給食センター管内の承認児童数(実績人数×給食費3,800円)				人	139
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
継続して衛生管理の徹底及び衛生教育を実施することで、今後も安心・安全な給食の提供を実施します。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		学校給食課			
事業名	石岡給食センター調理業務経費		会計	一般会計			
根拠法令	学校給食法		款	教育費			
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ	項	保健体育費			
	施策	01 創意ある学校教育の推進	目	学校給食センター費			
			事業	石岡給食センター調理業務経費			
		顧客(誰を)	小・中学校 児童・生徒				
		意図(どのように)					
事業の概要		石岡地区小・中学校の児童生徒・教職員分の給食を調理・配送し、生活における食事の大切さを指導します。そのために、関係者全員を対象とした衛生管理講習会(年1回)、栄養士打合せ会議(年5回)を実施しております。また、賄材料納品の時に検収を実施し、品質のチェックを確実にしております。					
事業全体としての課題		保護者の給食に対する関心が高まっていることから、さらなる食の安全性及び徹底した衛生管理がもとめられています。					
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	給食提供における食中毒の発生防止	給食の調理において食中毒を起こす細菌の発生を防ぐための取り組みを行います。(衛生管理講習会、栄養士打合せ会議、合計年6回)		回	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	6	6	6		
	実績値	6	6				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	186,762	182,124	169,028	160,707	158,929	0
	一般財源	77,716	70,498	76,569	87,523	75,104	0
	実績額計	264,478	252,622	245,597	248,230	234,033	0
	予算額計	264,478	252,622	251,438	254,179	246,713	247,419
執行率	100.00%	100.00%	97.68%	97.66%	94.86%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	学校給食受入室嘱託員数	嘱託員15名(令和元年度) 時給 870円				人	15
	学校給食調理員嘱託員数	嘱託員21名(令和元年度) 調理師免許有り 9名(時給 970円) 調理師免許無し 12名(時給 920円)				人	21
	石岡市立小学校第3子以降学校給食費免除事業	教育費の負担の大きい多子世帯の負担軽減を図るため、市内の小中学校へ通う児童、第3子以降の給食費を助成します。石岡給食センター管内の承認児童数(実績人数×給食費3,800円)				人	269
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
今後もより一層の衛生管理と衛生教育を実施します。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		学校給食課			
事業名	石岡給食センター管理運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	学校給食法			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	02 学校施設の整備・充実		目	学校給食センター費		
			顧客(誰を)	小・中学校 児童・生徒			
			意図(どのように)	学校給食を提供していく上で必要な施設管理や衛生管理を行います。			
事業の概要			学校給食施設に係る一般事務費及び維持管理に関する経費で、設備機器の保守点検、修繕及び更新等により円滑な運営を維持しています。				
事業全体としての課題			給食を実施していく上で、安全の確保は必要不可欠のものであり、そのためには日常から維持管理を確実にいき、未然に事故を防止する必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	給食の予定回数の実施		令和元年度の小・中学校の給食実施回数について、機器の故障による提供中止を無くし、計画通りの回数で提供できているかを判断します。		回	令和元年度
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	192	189	195		
		実績値	192	179			
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	38,728	39,165	39,272	41,748	38,430	0
	実績額計	38,728	39,165	39,272	41,748	38,430	0
	予算額計	38,728	39,165	41,404	44,922	44,890	43,739
執行率	100.00%	100.00%	94.85%	92.93%	85.61%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	消防用設備点検業務委託	機器点検及び総合点検(年2回)				回	2
	電気工作物保安業務委託	施設内電気保安業務 巡回/年12回				回	12
	ボイラー保守管理業務委託	ボイラー保守管理(年間) ボイラー点検(年3回)				回	3
事業の成果と今後の方向性						見直し年度(目標年度)	
安全・安心な給食を安定して提供するためにも、施設の設備等にトラブルが発生しないよう管理に努めていきます。						令和3年度	

令和2年度 事務事業評価シート

		担当部		課名			
		教育委員会		学校給食課			
事業名	八郷給食センター管理運営経費		予算	会計	一般会計		
根拠法令	学校給食法			款	教育費		
体系	政策	06 歴史・文化・未来を育む学びのまちへ		項	保健体育費		
	施策	02 学校施設の整備・充実		目	学校給食センター費		
			顧客(誰を)	小・中学校 児童・生徒			
			意図(どのように)	学校給食を提供していく上で必要な施設管理や衛生管理を行います。			
事業の概要			学校給食施設に係る一般事務費及び維持管理に関する経費で、設備機器の保守点検、修繕及び更新等により円滑な運営を維持します。				
事業全体としての課題			給食を実施していく上で、安全の確保は必要不可欠のものであり、そのためには日常から維持管理を確実にいき、未然に事故を防止する必要があります。				
成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	給食の予定回数の実施	令和元年度の小・中学校の給食実施回数について、機器の故障による提供中止を無くし、計画通りの回数で提供できているかを判断します。		回	令和元年度	
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	192	189	195		
	実績値	192	179				
事業計画	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	将来年度(予測額)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	28,264	24,680	25,842	24,704	24,363	0
	実績額計	28,264	24,680	25,842	24,704	24,363	0
	予算額計	28,264	24,680	26,019	24,924	26,334	28,081
執行率	100.00%	100.00%	99.32%	99.12%	92.52%	0.00%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	消防用設備点検業務	施設内消防設備点検回数 年2回				回	2
	電気保安業務	施設内電気保安業務回数 1回/月				回	12
	ボイラー保守管理業務	ボイラー保守管理(年間) ボイラー点検(年3回)				回	3
事業の成果と今後の方向性					見直し年度(目標年度)		
安心・安全な給食を安定して提供するためにも、施設の設備等にトラブルが発生しないよう管理に努めていきます。					令和3年度		